

研究課題名	救命救急センターにおける外科的気管切開術後の手術部位感染に関する後方視的検討
研究期間	2025 年 8 月 27 日 ～ 2026 年 4 月 20 日
研究の対象	2024 年 1 月～ 2025 年 1 月の間に広島大学病院救急集中治療科で外科的気管切開術の治療を受けられた方
研究の目的・方法	研究目的：外科的気管切開術での手術部位感染の危険因子を明らかにすることです。 研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータを使用して、危険因子について後方視的に検討します。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、病歴、入室時 SOFA スコア、術当日の最高血糖値、術後 1 日目の意識レベル (Glasgow Coma Scale motor response [GCS M]) 試料：使用しない 試料・情報の管理責任者： 広島大学病院危機医療センター 特任講師 錦見満暁
利用または提供を開始する予定日	2025 年 8 月 27 日（実施許可日以降）
個人情報の保護	得られた試料・情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。
外部への試料・情報の提供	ありません
研究組織	本学の研究責任者 広島大学病院危機医療センター 特任講師 錦見満暁
その他	
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に情報を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

	連絡・問合せ先 〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5588 広島大学病院危機医療センター 特任講師 錦見満暁
--	---